



住み慣れた地域で元気に暮らしていくためには、**地域の人々と顔の見える**関係を築き、**お互いに支え合う**ことが大切です。

今回は、そんな地域の集いの場における**世代間交流**について紹介します。

## 沢野地区 古戸町 餅つき大会



古戸町では、6月に子どもたちを対象とした田植え体験、10月には稲刈り体験を実施しました。今回は、その際に収穫した餅米を使った餅つき大会を1月11日（日）に地域の方々の協力のもと、古戸町長良神社にて開催しました。子どもたちは、杵と臼を使った餅つきを大人と一緒に体験し「楽しかった」「とてもおいしい」と、笑顔あふれる様子が見られました。

6月 田植え体験の様子



10月 稲刈り体験の様子



1月11日（日）餅つき大会の様子



「餅つき大会」の前身は、新成人を地域全体で祝う「新年の集い」として、約30年前に始まりました。新成人が減少する中で、子どもたちに餅つきを体験してもらう行事へと形を変えてきました。現在も成人式の日にあわせて開催されており、成長した姿を見せに訪れる若者もいるそうです。

# 地域のお宝発見 ～ 太田市生活支援体制整備事業 ～

## 発起人の区長中村宏通さん



区長就任3年目。  
今回の田植え・稲刈り・餅つき体験は、中村区長の発案により今年度実現しました。  
区長に就任後は広報紙「ふるとの風」を作成し、古戸町の取り組みを地域住民に発信しています。  
また、地域の特色を活かしたボランティア団体「古戸町わが町支援隊」を立ち上げる構想も進めています。



区長の発行している広報紙



野村吉平さんと餅米を育てた田んぼ

野村さんは、地域で長年米づくりに携わってきた経験が称賛され、中村区長から「子どもたちに米の作り方や餅のつき方を伝えたいので協力してほしい」と声を掛けられました。  
野村さんは、餅米を育てる土地を提供するほか、苗づくりや脱穀・精米などの準備を整え、子どもたちに田植えや稲刈りなどの農業体験の機会をつくっています。以前は、太田南小学校の授業の一環として、稲刈り体験に協力したこともあるそうです。



スポーツ愛好会会長  
栗田実さん

スポーツ愛好会は結成51年目。私は12年前から会長を務めています。主な活動は、マスつかみや流しそうめん、納涼祭など、古戸町の様々な行事に関わっています。今日の行事は、会長はもとより、各種団体の協力をいただきながら運営しています。

運動会や納涼祭でのお神輿、餅つきなど、古戸町では町民同士のふれあいが多く、子どもたちも様々な体験ができて喜んでいます。



育成会会長  
小林絵莉子さん

## 餅つき大会

古戸町では、田植え・稲刈り・餅つきという一連の取り組みを通じて、子どもたちは農業の大切さを学ぶと同時に、地域の大人や高齢者と関わる機会を持ち、顔の見える関係が築かれています。また、餅つき大会の運営には、スポーツ愛好会、育成会、スポーツ協会など、さまざまな立場の住民が関わっており、役割を分担しながら地域全体で行事を支えています。



過去の記事はこちらから

公式インスタグラム  
Follow me!



〇お問い合わせ 太田市社会福祉協議会 地域福祉係  
〒373-0817 太田市飯塚町1549 TEL 0276-46-6208